【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(中学校用)

都道府県名 宮崎県

. 学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	都城市立小松原中学校						
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数	
学級数	3	4	3		1 0	2.1	
児童数	8 9	1 2 3	1 1 4		3 2 6		

. 実践研究の概要

1. 主題 (テーマ)

確かな学力を身につけた生徒の育成

2.内容と方法

(1) 実施学年・教科

一部の生徒対象でなく、全生徒を対象に、また、一部の教科でなく、全職員で取り組むこととした。

(2) 年次ごとの計画

テーマ

きめ細かな指導を通して

平 仮説

成 1 4 年

度

分かる授業の工夫やきめ細かな指導を行うことで,学ぶことの楽しさを体験させ, 学習意欲を高めれば,基礎的・基本的な内容の定着を図れ「確かな学力」を定着さ せることができるであろう。

研究内容・方法

指導方法の改善~ 分かる授業への改善,少人数指導の実践,選択教科の充実 教材の工夫~ 小テストの工夫

学習資料の作成~ 掲示物の工夫

学習態度の育成~ 基本的な学習習慣の育成

テーマ

きめ細かな指導を通して

平

仮説

成 1 5 年

度

分かる授業の工夫やきめ細かな指導を行うことで、学ぶことの楽しさを体験させるとともに目的意識をもたせることで学習意欲を高めれば、基礎的・基本的な内容の定着が図れ、「確かな学力」を定着させることができるであろう。

研究内容・方法

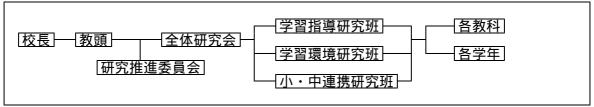
指導方法の改善~ 分かる授業への改善,少人数指導の実践,選択教科の充実 教材の工夫~ 小テストの工夫,進路指導の充実,小中連携

学習資料の作成~ 掲示物の工夫 レディネス・ポストテストの充実

学習態度の育成~基本的な学習習慣の育成

テーマ きめ細かな指導を通して 仮説 分かる授業の工夫やきめ細かな指導を行うことで,学ぶことの楽しさを体験させ るとともに目的意識をもたせることで学習意欲を高めれば,基礎的・基本的な内容 の定着が図れ,「確かな学力」を定着させることができるであろう。 研究内容・方法 指導方法の改善 分かる授業への改善,少人数指導の実践,選択教科の充実 教材の工夫 小テストの工夫,進路指導の充実,小中連携 学習資料の作成 掲示物の工夫 レディネス・ポストテストの充実

(3) 研究推進体制



学習態度の育成~ 基本的な学習習慣の育成 家庭との連携

. 平成15年度の成果及び課題

1 研究の成果

(1) 宮崎県教育研修センターの教育課程実施状況調査(学力テスト)において,以下の通りである。

平成 1 3 年度 5 教科の県平均点との差 + 1 8 . 2 点 平成 1 4 年度 5 教科の県平均点との差 + 3 4 . 2 点 平成 1 5 年度 5 教科の県平均点との差 + 3 6 . 1 点

(2) 英語検定 準2級,3級合格者数が多い。

(15年度においては発表がまだなので現段階の人数。今後増える可能性有り)

(3) 漢字検定において学力の向上が見られた。

平成 1 3 年度 4級以上合格 6 1 名 全級の合格率 5 7 % 平成 1 4 年度 4級以上合格 8 0 名 全級の合格率 6 8 % 平成 1 5 年度 4級以上合格 4 8 名 全級の合格率 5 2 % 準 2 級合格 1 6 名 準 2 級合格率 6 2 %

平成15年度は準2級の合格率が高く,昨年合格している生徒が,上の級を目指して取り組んでいた。

(4) 地区のテストの平均点と本校の平均との比較

地区のテストの平均点より,どの学年も上回っている。16年1月のテストにおいて, 1,2学年は少し下がったが,後はすべて伸びてきている。

	14年4月	15年1月	15年4月	16年1月
1 年生			+ 27.0	+ 19.7
2 年生	+23.4	+30.4	+39.1	+33.0
3 年生	+ 26.5	+26.6	+30.6	+ 34.7

2 今後の課題

生徒の個々のつまずきの発見と、その解決のための時間の確保下位学力の生徒に対する学習指導や支援の方法について研究実践

. 学力把握のための学校の取組

学習実態調査を年2回(1・2学期)実施し,生徒からの授業改善要望などを把握し,結果がどのように変わっていくかを見る。また,教師へのアンケート(2学期終わり)をおこない授業の改善が行えたか(生徒が分かるようになったか,要望のいくつかが改善されたか等)について,見直しをする。

生徒の実態アンケートを年1回実施し,宅習,学習習慣がどのように定着していくかを見る。 学力テスト(4月・9月・1月)の結果を分析し,対策と実践を行う。

. フロンティアスクールとしての成果の普及

- ・研究紀要の配布(管内小・中学校)・平成16年11月頃に研究公開の予定
- ・ホームページの作成

次の項目ごとに,該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】 15年度からの新規校 ▼14年度からの継続校

【学校規模】 3学級以下 4~6学級

13~15学級 16学級

【指導体制】 ▼少人数指導 T.Tによる指導

その他

✓外国語
✓音楽
✓美術
✓技術・家庭

✔保健体育 その他